

新刀録
盡大全
完



切の道具カキあるをモシ若くは
 形キズのカク知チずチのチ
 長ナガのカク知チずチのチ
 威イのカク知チずチのチ
 或アルのカク知チずチのチ
 是コノのカク知チずチのチ
 別マのカク知チずチのチ
 作サのカク知チずチのチ
 小コのカク知チずチのチ
 分ブンのカク知チずチのチ
 多タのカク知チずチのチ
 乙巳の春
 應オウのカク知チずチのチ
 李リのカク知チずチのチ

應オウのカク知チずチのチ
 李リのカク知チずチのチ

○大小刀ボツ品々之ヒ度
 棒ボツ

連ツ

腰コ

添ソ

○ホウシ品々之ヒ度
 火ヒ

青江アヲボウシ
 三原ミハラボウシ



斤シ

九ボウシ

大ボウシ

○焼双品々ヤキツバ中スグ

ヒロスグ

ハユヤキ

重火ジウカ

スダレ丹波守吉道是也

大ミダレ

小ミダレ

アヤ杉月山是ノ如シ

ゴマバシ

丁字ミダレ

ホソスグ

ノダレ



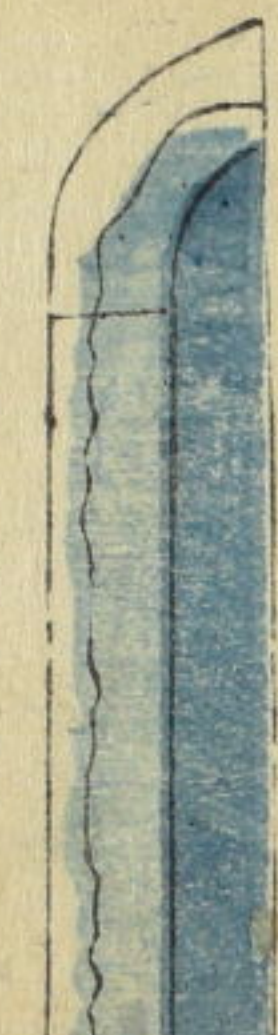
ヒタヅラ ヒタツラ 皆焼ナリ



サカアシ



三本杉



ノコギリバ

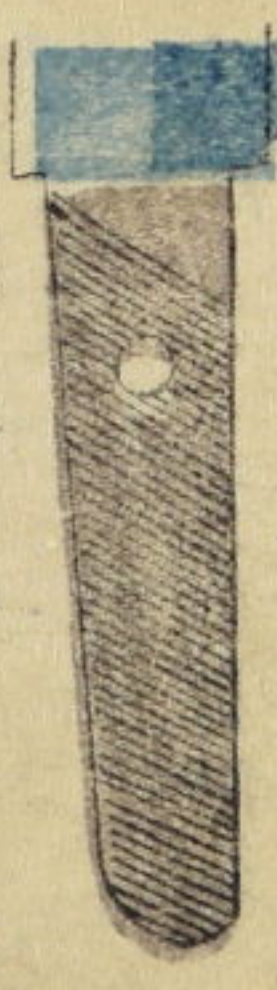


○忠 十カコヤ 品々之支

十文字或ハキリ



スジカヘ



大スジカヘ



ヒカキ



タカノハ



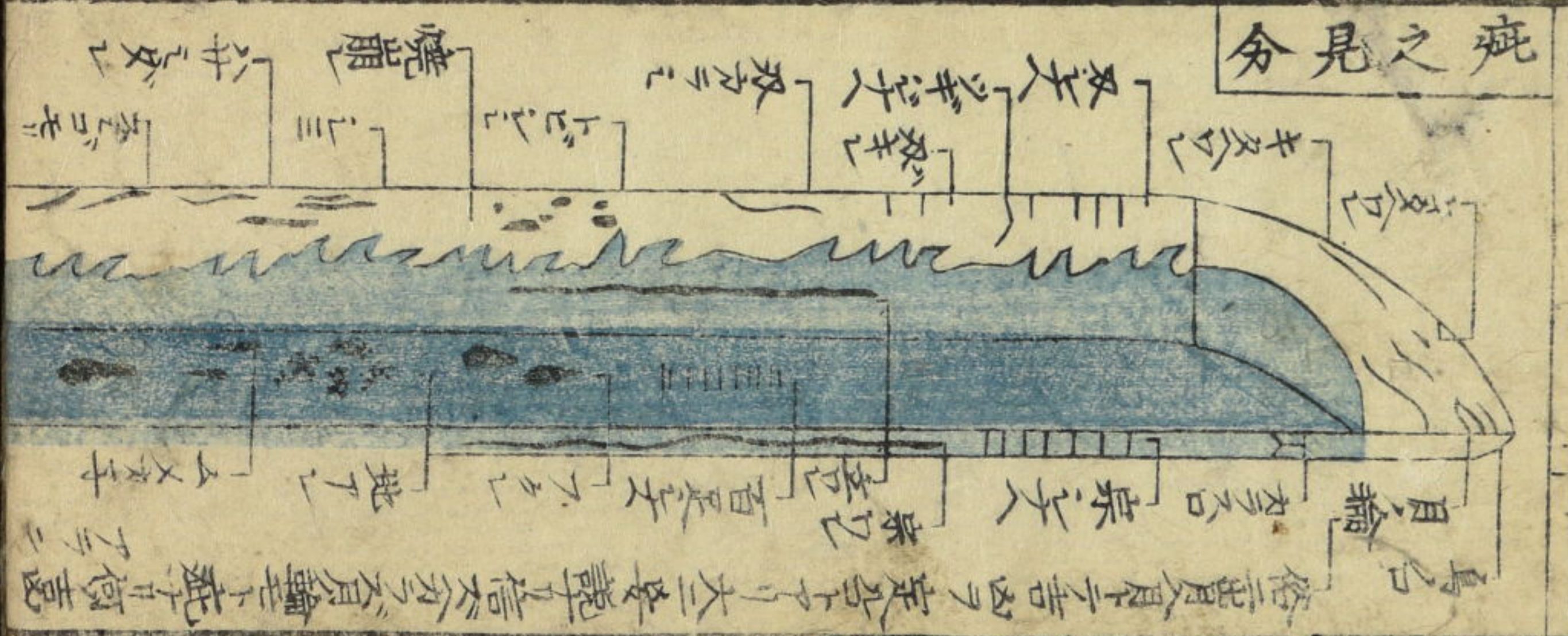
ヒタリヤスリ



タカノハ



疵之見分



本慶長三年カキ也此新作多ク上作也
カキ位アリ能見分ベシ与カキ廣敷
丁子乱カキモアリ物極テ上ナリ
九宗慶長三年十月日

洛陽茶堀川任國廣

江列佐和山至寺是ヨチ江列佐和山
切國廣下字切丸初ウキリ洛陽茶
任庄後信濃守庄切也
九宗慶長二年二月日

江州佐和山任國廣

茶堀川國廣分第ト云一代分ト云傳
多事ワホ考之凡國廣事クク用夫丈
丈ニテトフ之九ム子

洛陽茶任信濃守藤原國廣

洛陽堀川國安之ヨリ子出素ト分ヒ
テニアラクタル如キ大乱地テクニウ
ツクマツマリタルモ

國安

アルキ大森公ノ家ニ至此作アタラ
シク深ク是ヲ拜シ今其忠銘ヲ寫
レト便トす

數下穿走餘
下賜本株信濃守藤原國廣

出羽大掾國路大國吉公乃カキト
イ、傳フ慶長ノ大坂任ニ代リ銘イ
多テ多子タカシ近代ノ上作ナリ

出羽大掾藤原國路

伊勢守國輝大坂ノ住人小林ト号ス
河内守國助親子カ子至テ細森ノ
上作

小掾伊勢守國輝

國重本備中水田ニ族也山城兼任
出東水田ニ似テニアカク地カ子モク強
シ清ハ分作當ニテイノ作ナリ

備中國權原住清國重

▲江戸ニ表テ誓々住スガカ子キハテウダ
シ木ユ目ノ外此作マナリ至テワサモノト
言傳大テイヨク冬冬上テ 九公子

江戸水田國光

▲水田々國重水田ノ元祖至テクノ上
作ニ下テ下言語ヲ寸及金ヲ以テキ
テ元ツツツヲ合トキハルノ下ア次
九公子

備中國水田住本ノ國重

▲備中永田國重故多テ國ノ之モ因東
ノ下ニ在サガモノトイフタテイヨリ上
手ナリ 九公子

備中國水田住國光作

▲井上和泉守國貞大坂任人同銘三代
ノ元祖公道井上真改去三代井和泉
守坊三代和泉守藤原國貞ト切
九公子

井上和泉守國貞

▲河内守國助大坂ノ住人伊勢守國輝
カ子ナリ至テ上テワサモノノ同ノイニア
リ大坂國助ハ一人ノ子角底先細

河内守國助

▲河内守國助勢列神戸住人也世ニ神戸
國助ト大抵上テ河内守國助ハ別家
ノ親ト云ハ誤ナリ
角宗

河内守藤原國助

▲國權ハ江戸ノ住人元大村加トガ別名也ト
云分明トラス言及多テ至極業物也ト云
九宗

國持作

池田鬼神丸江言神田緋屋町住セリ
後三陸列至リ住ス大抵ヨリスケル
上手ナリ
宗少シ丸シ

池田鬼神丸國重

肥後守國康大坂人丁子乱ニ
白ヒカシ上手也世ニ專ラ切モト
云フ
宗以シタアリ

肥後守國康

山城守國清洛陽住人也大誓
リケタル業物ナリト云傳フ
角宗スレタカ銘表ニ菊ヲキル

山城守藤原國清

佐渡大掾國富何國カト云テラ
知ラス最上ノ業物ナリト云一説ニ雲州
ノ住人ト切ルト
九宗

佐渡大掾藤原國富

仙臺住人寛永ノユロノカキ至極上
手ニテ切レモ也ト云傳フ
九宗必シ内アリ

奥州仙臺住藤原國包

下ナ至テミカナリ 忠先至ニホシ

盛岡ノ國義カ作多ク乱ヤキナリ
近代ノ上手也
角宗 表三元禄三至号スセリ

奥州盛岡住國義

越後守國傳イッレカギト云トナ
知ラス一説ニ堀川ノ國慶カ弟ナリ
ト云リ大乱又多シ
宗少シ内アリ

越後守藤原國傳

和泉守國虎奥州岩城ノ住人
藤原國虎ト近世銘ヲ切大抵ヨリ
スレタル上手也
九宗表以下風湯鉄作

和泉守藤原國虎

吉道大坂住人氏小鉢至極上手
ナリ銘タタ多ク平ラカシ
角宗

大和守吉道

上野守吉國土佐國高知カナナリ
今ノ上手ト昇ヘタリ
角宗

上野守吉國

新

出雲守吉武、江戸西へ保佐佐地鉄
定子ラス賊シ多ク廣直又出来不出
米アレト上手也
角宗

出雲守藤原吉氏

吉定ハイツノ國ノ人ト云フヲ知ラズ一説
肥前住人ト云フ至極ノ上手ナリ
九宗少シ肉アリ 裏ニ大音ナリ

伊勢五郎源吉定

丹波守吉道、京大坂伏見ニテ所ニ有
今世ニ京丹波ト号ス是ヲトス大坂丹波
公近世官ニカラス
角宗

丹波守吉道

伊勢大掾國廣肥前國住人鍋
嶋方也地鉄キタハ細ニ廣直又孫作

肥前國住伊勢大掾藤原吉廣

信國吉廣、執紫信國ノ末子也因テ
信國ニ字ヲツキ此一家ノシモ上手ナリ

筑前住源信國吉廣

近江守忠繼、大坂住人入道テテ子
忠繼ト号ス惣シテ地鉄ニリヨク丁子
乱ニシテ 角宗少シ肉アリ

栗田口近江守忠繼

切モノノ名入テタリカラ竜或ハト竜
下リ竜切モノ多クシ鯉々キ上リ
トドアリ

學子忠綱殿同作

眞和泉守忠重、薩州住人トカ
姿多クハ直ニ廣直又多ク子ト取
以シ業物ニシテ大抵ヨリ上手ナリ
九宗

眞和泉守忠重作

白ト深クニ濃ニ沈ミテ丸ハニ至極
上手最上業モ也ト云フ
九宗 裏ニ草保元年八月日

栗田口近江守忠綱學子

信濃大掾忠國、因別鳥取住人松平
右衛門督カキナリ大ニイヨリスケル
上手最上業モノト云フ

信濃大掾藤原忠國

新
元目伯明ガ子ナリト云地鉄キタ至テ
三ノ方ニ至極ノ上手最上ノ業也尾州
ノ正カキ也ト云
九宗 ヨコヤスリ

伯明守藤原信高

越中守忠俊ノ洛陽ノ任人ガ子ナリ
ナリト云故ヨツテ其列ヲ退レル也大抵
ヨリスケレタル上手ナリ
宗政ニカシヤリノ手カイアリ



城中守正俊

松平伊守殿ガ子ナリ或説ニ云楠多門
兵衛正俊ト銘切ルト古長門守其ノ
切ト名取ヘシト仰ケ其後東ト云云
改シテナリ 九宗

東双門兵衛正俊

伯明山月信高居共尾州ノ任人元祖
高是ナリキタヘ大抵ニシテ至極ノ
業物ナリト云 九宗

前伯明山月信高居士

山城ノ任人京都五條ノカキ也今ナシ
大抵ヨリナリ見ヘリ乱ガ直多クアリ
九宗ニカシヤリ 裏ニ洛陽任トアリ



信濃守源信吉

東ノ前兵衛正成元備前國ノ任人
成カキニシテ其ノ弟多門兵衛ト云
浪人ナリナリ自然ト云ナリ好メナ
トナリ 九宗

東双門兵衛正成

取前ノ國佐實ノ任人正廣至テナキ也
直及乱ガ色々地鉄ニナリ濃カキ走
リシクシ寛平頃カキナリ
九宗

肥前國河内大塚藤原正廣

安代正清ノ入上ニ正藤別ノ任人ナキ也
得シ江戸ヘカレテ 上意ニ依テホリ
銀ヲ英ニ榮ラ賜フ
九宗

壬馬首正安代

大抵ノ作人ナリ此作多ク慶長手
ナラリ
九宗 表ニ慶長手年八月吉日

虎守藤原信高

藤原正清ノ子ナリ其ノ弟大塚正清
長道ガ孫會津守長道ガ子也會津
藤原正清長上長鎧ヲカキ多シ
九宗

相模會津任政長

宗八

▲養御紋一葉ヲ賜フ安代清氏ニ
ヲトシテ上ノ手也多ク廣直燒ヲ好
テキタフ
九宗

○二六五信

▲政常ノ元關ノ住人カキ也多ク大小
ヨキタフ至テ業物世ニ希ナル辰ヲ諸
人秘藏ス小乱レ多シ
九宗

○相模丹藤原政常

▲豊洲小倉ノ住人紀政平大抵ノ作
ナリ此作世ニ希ナリ
九宗

○豊前守右住紀政常

▲上ノ手直又青江ノ如キ出来多シ
乱又備前一文字ヲ如キ出来テカ
リフカシ位アリ大抵言ハ上ノ手見タリ
九宗

○知前國福田住守次

▲津田越前守ノ撰別大坂ノ住人也世ニ
多ク糸口ノ廣ト号ス至極ノ上ノ業
物ナリト云フ
九宗

○津田越前守源助廣

▲右同人也最上ノ業物ナリト云
九宗 凶亥ニ〇八月日

○津田越前守助廣

▲後三白山家ノ人ト其キタノ地鉄至
テワマリニ走り水田ノ如ク多クハ
大乱ナリ
九宗

○津田越前守助廣

▲越前守助廣ノ撰別大坂ノ住人也撰
別ノ住切レモ同作也多クハ小乱ヲ鏝
出来タル石堂是ニ似タリ
九宗

○越前守藤原助廣

▲大坂ノ住人津田越前守ノ別人ナリト
云フ上手也ハキ際ノスリ至テ見
コトナリ
九宗

○越前守助廣

▲吾ノ住人極テ上手ナリニ濃ニ地
ダツマリテ見コト也至極ノワカモノ
也ト云フ
九宗

○和泉守今三院福國

行

▲土佐將監為康、何レノ國ノ九平ト云
下ラ知テ地鉄至テ細シテニシツミ
位有至極上作也

○土佐將監為康

▲助直、津田越前守カ妹贅ナリ至極
上手地中乱ニ自ヒフカクキタヨミカ也
業物ナリ

○津江守高水佳助

▲津田助直、前ノ高木佳助直ト同
人ナリ

○津の近江守助直

▲大坂ノ住人井上和泉守國貞分トナリ
入道ニ直改ト号忠ノ表十六葉系菊
ヲ切是ヲ大坂正宗ト云

○井上貞政

▲肥前平戸、カガナリ出来井上貞政受
テ打上手也此作江戸ニ希ナリ

○土肥貞了

▲伊豫棟宗次、至極ノ上手業物也初代
長年中ノカガナリ當時宗次分作出
来キテ希也カ形重天旭及深シク代同銘
九宗

肥前國住人會津源宗次

▲國知レズニハ走り大乱ニシテ地鉄ヨク
シリ大替リハスレタル上手見ナリ

○会津源宗次

▲奥州ノ會津氏、至極ノ上手業物ナリ
元祖會津藤四郎ト号ス長子ト今世政
長ノ會津藤四郎ト号ス元祖ト云

陸奥大塚三善長道

▲並原長貞、江戸ノ住人元々シカキ也好
カキタニ細シ業物ナリ去真コト
ナリ

小笠原庄母長貞

▲並原庄齊長貞ナリニ字鉛多シ

角宗

○長吉

飛騨守氏ノ尾羽ノ任人ノ關カキナリ
至極ノ業物也濃シテニラカク
及有ノ帽ヲ好ム慶長ノ頭ノ作ナリ
南宗

花ノ輪守藤原朝具ノ族

平四郎首政別シテ上季也地鉄濃シ
シテ自深クニ走リ流ミテ至極
業物ナリト云傳フ
九宗

源信國首政作

前見ハ平四郎首政同ナリ
九宗

筑前住源信國首政住

吉包至テ物ナリ上季也地鉄及地
地鉄ニヤナリ
九宗

筑前住源信國吉包

鬼塚吉國ガ出来色ト有テ何レ地鉄
銀ノヤナリ上作ト見ヘテ去上ノ至極
ノモノ也ト云傳フ
九宗

筑前住鬼塚吉國

加判陸羅尾ノ家至極ノ上季也地鉄ツ
マルホヒフカクワツクニ出来有最上ノワ
サ物ナリト云リ
宗肉アリ

筑前住藤原吉家作

藤原吉家ガ子也ト云リ上季也出来
色ト有テ直又多シテ業物也ト云リ
南宗 兼三喜衛門作之

筑前住金澤住陸羅尾吉家

坂尾吉時ハ元関ノ任人江戶東テ久
シク住テ其子孫有多ク乱又大抵ノ
作人ナリ
九宗 銀アサシ

関吉定京坂尾吉時

義助大抵ノ作也江戶白山ニシテ銀ト
云
九宗

駿河嶋田住義助

和州住義忠ガ作世ニ希也依之知父
少シ銀ヲ見事ナリ所アリ
南宗

駿河住義忠

新

新

左陸奥守が子也ト云リ出来包保ニ似テ乱ニシテ地ハ多ク大抵ヨリハスクレタル上牛也ト云フ
角宗

新。奥守包保

世言是ヲ左陸奥守ト号ス包保也包保ト云フ切タル未受領セザル前ノ作ト云フ

新。時寛承八曆八月日

左ヤスリニシテ御目至テヨマカナリ多分チ折リ強ク命ヲ典ハタル下キ是正真也近代新乃ニテスルナリ
角宗

新。陸奥守包保

文殊陸奥守包保和別ノ任人亦右陸奥守同銘ニシテ大坂ニ任人見下ナル出来多シ

新。陸奥守包保

左陸奥守ト同銘ニシテ別人也大坂ノ任人野家ノ召レ録ヲ得テ信別ノ移依テ信別松本ニ於テト云義銘多シ新身ノスイ也ト云フ
角宗

新。奥守包保

越後守包負大坂住地地鉄ツマリニ倉乱及直又多シ出来大抵ヨリハクシタ生手ナリ
角宗

新。後守包負

大法師法橋来金道ノ城ノ任人其方ニ入也ト云大カ形イシテ位キ出来也大乱ノ時大抵ノ也
角宗

新。法師法橋来金道

大法師金道カ子ナリ出来大乱多シ地鉄キタヨクニ走り位アリ親法橋ヨリハスクレタル物ナリ
角宗

新。奥守藤原全道

法橋全道カ受領ヲ和泉守ト号マスト云大抵ノ作ナリ
角宗

新。和泉守未金道

天和守金藏ハ江戸神田住ト云地鉄ヨクニシリニハ細シクシク大抵ヨリハスクレタル物ナリ
角宗

新。天和守藤原金藏

行

因幡守金辰、何レ國カギト云コトヲ知ス地鉄キタヘ宜ニ細ニ大抵ヨリハ又シタル作人ナリ、角宗

因幡守藤原金辰

△因幡國衛庄金重、何レカギト云コトヲ知ラシク世ニ希也金重元ト銘切モリ、大抵、作ナリ、角少シ内アリ

西陽國衛庄金重

△元關カキ也地カ子キタヘヨカニシテ三ノ深ク多ク、廣直又也最クワサ物ナリト云ツタフ、角宗

近前國住魚植

△朔ノ住人兼若、元關カキ未也ト云リ地鉄ノキタヘヨク大抵ヨリヌクシタレ上キ也最ク業物ナリト云傳、俗名四郎右衛門、号ス、角宗

加列住藤原兼若

△大抵ノ作也至極ヨク出来タル多シ大乱及也慶長ノコノ作ハワノ名入ナリ至極ノワサ物ナリ、角宗

肥前國住兼廣

△肥前國ノ住兼廣、作地鉄ニリテウクシホウシ、身事也大抵ヨリヌクレクル上キ也遠江守ト受領、角宗

肥前國住大和太塚藤原兼廣

△貞則會津ノ住人ニ善長道ト同時ノ作人也寛永ノ頃至極業物也古キ將公ニ册定長道ニ今以テ文武ノキト稱、角宗

奥列住魚定

△因例ノ住兼先ト大守ニ録、切キ有因例鳥取城下カキ也元關ノ住松平右衛門曾殿カキナリ大抵ノ作也、角宗

因幡國住藤原兼先

△和泉守兼重、江戸ノ住、千手院和泉守盛國カ弟子云大抵ノ作也後藤堂家文至テ上總、兼重ト号テ業物ナリ、角宗

和泉守魚

△丹後守兼道、大坂ノ住人伊賀守兼道カ弟也兄伊賀守、宜至極業物也ト云傳、大抵ヨリヌクシタレ上キ也

丹後守藤原兼道

新

肥前國之佳忠貞近世無双上作新身
第一子元祖忠貞慶長之頃五子也
至極上手最上之業物也ト云フ

肥前國忠吉

慶長年号ヲ切モアリ或ハ肥前國
忠吉ト切ル或ハ肥前佳入忠吉異切々々
相續テ上手也

肥前國忠吉

此忠吉三代目也初代五子肥前國忠吉
有二代目肥前國佳入忠吉三代目肥前
國佳入忠吉作ト切ル目利大事也

肥前國佳入忠吉作

近江大掾忠吉當時カキナリ銅嶋
カキ也スニ中直又ラ專ラース大抵
ヨリスクレタル上手也

肥前國佳入大掾藤原忠貞

近江守忠廣カ親也ト云乱ル多シ地
鉄ヨクニリウツクシ大カクカタ有
至極上手最上之業物ト云フ

肥前國佳入大掾藤原忠廣

近江大掾忠廣多ク中直又ラ專ラ至極
上手也最上之業物ナリト云傳ヲ出果々
ル直又青江三原ヲ見ルカ如シ

肥前國佳入大掾藤原忠廣

播磨大掾或ハ播磨守ト切直又忠廣
ガ如キ出来多シ乱ルイヤシキ乱多シ最
止業モ大抵ノ作人ナルベシ

肥前佳播磨大掾藤原忠國

長門守佳入大抵ノ作直燒多
シ切モ也陸奥守長門山城守ニル
トテ陸奥守切ルハ宜シク云フ

洛陽堀川住陸奥守藤原長

是ハ江石守ノ人也至テ上手乱燒ア
好メ銀至極ノ業物也始テ左近是下四
守切後ニ武藏大掾ニ受領スル

武藏大掾左近是

西峯ハ江別ノ任人也其キタ地鉄ニリテ
宇津ノ如キハ夕有至極ノ上手業物也且
云直又タレ又類多シ最上之業物也

江別任佐々木善四郎源一

九宗

山城守一法、何レ國ノカギト云下知ス
地鉄キタヘ至テ細カニウツクニ最上業物
ナリ廣又逆足又ナド多シ九宗

○日置山城守一法

此作尊貴久作ナラテ白地其名アラ
ハシガシ別名ヲ義中号ス重厚ク三角
ニシテ最上業物ナリ
九宗以テ内アリ

源 ○頼貞武門暇自眞銀作之

武藏太郎安國、武列八王子ノ住人下原
ノ家ナリ大村加カ傳ヲ受テキタハ是ヨ
リ真今十五枚甲伏作ト云
九宗 裏眞十五枚甲伏作ト切ル

○武藏太郎安國

大和守安定、江神田白銀所ニ住ス代銀
治ナリ正代新カノ物長ニテ業物ナシ
因テ好テ指料トスルナリ
九宗

○大和守安定

国司絶宗ノ推ラオタル者也太イヨリ
スケタル上手也此作江戸希ナル言
テ知ル人少シ
九宗

○奥州仙臺住安倫

波平大和守安國、薩列ノ住人上手也

九宗 大方 太刀鋸ナリ

○波平大和守安國

康継、元越前ノ住人下坂也刀形幅アリ
康直又ヲ好テキタ 大猷公御時葵
御紋ヲ給リヨリ中心ニ御紋ヲ切ル
九宗

康 ○繼以南總鐵於江戶

按ス江上直政カ別名ナリ何レ直
政カ出来ニ替ル事ナリ上手也サシウラ銀
元ニ六ノ菊ヲ切
一芝ハハニマニ日

井上奇峯

仙臺主絶宗ノ作世多ク有トイヘトモ
皆偽ニシテ正眞ニテ正眞ノ銘ナシ上六
傳フ品川ニ隱居シ給フ時タハ給フ眞
モタマク銘有モ有シ 九宗

於武藏川仙臺國可陸奥絶宗

相列住細廣カ作世多シカ多如キ草
ニ銘ヲ切リニ世ニ代ヲ付生有カサ子
ウスケ幅アリ大抵ノ上手ノサモ也ト云
九宗

○相列住細廣

家入

此作世三知人布也昔異國ヨリ大明
京上云者来ニ雲列ニ住漸世ヨリタ
タルニ依テ世下ニ至大抵ク作也
角宗

雲列住大明京

真異元越前任也後浮池端程
身第ニテ也真氏子ナルヨシ
角宗 寛文九年六月吉祥日

長曾孫興甲入道扇徽

貞正多ク鍛弁ルニ其作世布也
大抵ニテ幅ツヨク多ク大乱レヤカ
来ナリ銘々子太ク業物ナリ
九宗

長曾孫扇徽興心

舟後守直道大坂任人太抵ヨリ上
見タリ業物也三宮丹後守直道
夏錦ニ於於列大坂以南富鉄造
空室ノ年号切モアリ

舟後守直道

本名兼紀新大夫行平ト号ス肥列
ニ移リテ河内守ト受領シ今豊後
本行ト号肥列唐津乘住至極ノ上
ナリ 角宗少三肉アリ

肥列唐津高田河内守源本行

薩列ノ力也太刀鋸ニ切ル至極ノ
物也薩列ノ住ト切生有
九宗

奥和泉守秋成作

相列八幡山清平稻葉舟列ノ力也
地銀ノマリキタヘ細ニテニ深シ
有業物ナリ後ニ江活ニ住ス
角宗 裏ニ元禄ノ年号アリ

相品八幡山住藤原清平松武澄之

若列ノ冬廣藝列ノ雲列ノ相列
ト豫列松山トイッレモ家ノ別
ナリ各同住ノ作ナリ

藝列住藤原冬廣

乱ヤキ廣直ヤキノタレマキ箱ヤキ等
ノ品々アリ

若狭大掾藤原冬廣

對馬守常光八石堂ノ象也江戶
ノ地鉄ノキタヘ細ニ乱多ク至
以并モナリ
角宗

對馬守橘常光

行

六

親不
裏播磨完栗千種九一以英鉄鍊貫
銀元禄十二巳卯年
出米大抵ニシテ廣直ヤキ多シ
角宗

藤原右作具

伯耆守汎隆ハ乱又多ク地鉄細ヤカ
ニシテエフカクモ切モノ大抵ヨリスケレ
タル葉物也諸人は是ヲ重宝ス
裏ニ越前任

伯耆守藤原汎隆

近江守久道山城國人任人丑ケノ内一
人也キタヘ細ニ大抵ノ作人ナリ
角宗

近江守源久道

總平ハ江戸人直ヤキ多シ業物也
ト云傳ヲ大抵ノ作也今ニ至テ總平ト
号ニ天小ヲキタフ
角宗

近江守藤原總平

則利ハ常陸國水戸人任人裏銘越
中則利カ未葉ト切ル多シ信國ナト
如キ乱多シ大抵ノ作ナリ

常陸守源久道

ト傳ハ常列水戸人任人長兵衛ト号大抵
ヨリスケレ上車也水戸黄門ヨリ多ク給
フ諸人は是ヲ感ス
角宗

常列水戸任人長兵衛

代々藤嶋ノ孫ナリ大抵ノ作ナリ
宗肉アリヤスリヨコ

加列任藤島交重

此作至極ノ上手業物也於南紀重
國作之切ハ初也是ノ上手也又形大抵
ニ恰好ヨリ志措料トスヘシ

於紀加交重

筑紫信國ノ未葉乱及多シ大抵ノ
作ナリ
角宗スジカヘヤスリ

筑列住源信國重包

紀新太夫行平ハ元豊後高田人任人唐
津ノ本行カ父也ト云後ニ唐津ニ任人廣
直乱ヲキ品々アリ上手ナリ
角宗

紀新太夫未河内守源行平

新

葉ア

此作乱及直及也至極上手也藤島
行廣ト切タルモアリ

カカチハナリニカ筆勢ヨリ
宗ヤキキリ 宗又少シ肉アリ

肥前國出羽守行廣

繁慶ハ吾鉄炮町ニ貸新身第
一上作モ切クスイ一也

角宗 指裏平鈿左鈿宗ヤキキ

○繁系慶

越前道紀其作活テ布ナリ大抵ナキ
ト見テ葉物ナリト云傳フ

河内列竹并越中入道紀元

享保六〇三月上ヨリ

伊豫大榎勝國ハ加列陸羅尼一家也幸
也極テ切クナリ 九宗肉ツヨシ

○伊豫大榎勝國

大村如ハ何國ノ人ト云コトヲ知テ自然是
ヨキ多ク武家ノ浪人也一代分クニテ上手也

九宗ヤスリカドヤスリ

作聖ハ松尾部在衛門尉号大村加ト

陸奥守包保カ助ニ打タル作ト見テ陸
奥大榎ヨリ陸奥守ニ受領セテ見テ

新奥大榎勝國白

▲繼平藤田與在衛門ト云ナリ奥四郎ト云

近江守ト号當與兵衛其氏也秋代

八九年神田明神社内ニ住テ在越前出

テ近江松平右京大夫殿手鍛冶ナリ

テ別ニ止年ニテリ正目ハ保昌五郎督

ハ相別負宗ノ如キ出来アリ肌物ハ則重

傳ヲ鍛テ左類ノ如キ出来モ是有殊

黃金ノ如テ鍛ルモ得テ近江並ヒ

ナキト手也好テ指料ニスギモ此外ニ有

ベカラテ称羨ニ道員ナリ

九宗

高の子ハ高ノ宗ニシテ

裏ニ 宝曆癸酉之春

○東江ノ藤系傳平

裏ニ 加黃金造

近年此如キ唐ヤウモ銘ヲ切テ前方

魚銘アリモ有皆同作也越テ物格

好切先少クツリ合ヨラカロシ

右二穀ストコロノ銘盡テ前編
トシ左ニ記ス物ヲ後集トスルハ
同人同作ニシテ銘アリ中心ノ像
替リアルモヲ拳ル又大抵ノ作
ト前ニ出シタル品ニ上手ト定
直シタルナドハ世上ノ評ヲ以テ
多分ニ屬ク見ル人ノ察有ビシ
又直及乱及或ハ重子ハナハタ物
ナド、定メガタシ時ニヨリ、ゾミニ
ニカセテ變ルベシ然レドモ十二
六七多キ方ヲ記スコレニモレタ
ル品ハコノ後増補スベキモノ
ナリ

山城

伊賀守金道純鉄細ニシテハニホト有
テ上手也先板、銘中少シ相違アリ

初代

伊賀守金道

和泉守来金道、大法師法橋、来
泉、ト打テリ、地カヲツマリニ有テ
大ヤウ成乱多シ上手也

和泉守来金道

久道、直及ナドハ殊示ウシ及シマリテ
久ハシタ見下成モナリ

近江守久道

先板ニ少シ相違アリ、シカシ枝菊切丸
来金道ノ見ヤウハクワシ父手而作
時ハ此コトク打也先板ニ有レ庄菊ニ相
違アル故シラス

大法師法橋来泉
和泉守来金道

近江守久道ヲ大抵ノ作ト云ハ相違地
鉄細ニシテ白深クスレタル上手也

近江守源久道

近江守源久道

平安城住正俊
平安城住正俊慶長ノ頃ノ作開乱及
子乱多シ地録細シテハニホト甚見
下也別テ初代名人也

平安城住正俊

越中守藤原正俊是モ初代右同ノ受
領スル故銘中心コニシルス惣シテ一流有
モ也見ヤウロ傳

越中守藤原正俊

京丹波守吉道大坂初代丹波守ガ
第コト作初代地録細シテニハ白ヒアリ
タレ又打上手ナリ

丹波守吉道

丹波守吉道此作言ハ大兼ノ翁ヲ打
地録コニ立シテタレ又アリ上手ナリ
惣テ伏見丹波ト云コト其セツ定タラス
ニ代目

丹波守吉道

丹波守吉道代々タレ又タレ并大孫
作ナリ
三代目

丹波守吉道

大隅守藤原正俊右國改タナリ極
テ藤原正私トカリ打シ也銘ボソタ
レタル上手ナリ

藤原正俊



出羽大坂藤原末國路ノ國廣カ第子也中心
深ク見テ右又ロカク銘不出来ナリ有九
三代斗手有古早ハ地録細シ白ヒアリ

出羽大坂藤原末國路

豊後守義國先板モ有京堀川住尾
各豊後守義國ト打モアリ地力子細ニハ
白ヒアリ位有テ子九ホド上手ナリ

豊後守義國

東山住美平八傳十郎ト号東山住大江
美平トモスタレタル上手也

東山住美平

城山

城列住美法道云アリ大坂テ打タト
見コト至六城列西圍ニ住セシナリ銘
フトキモアリ地力子細ニテニハアリ
白ヒフカシ

城列住美法道

新
三

地カ子細ニサメ銀ハ白ヒラカシセツ天
江美高トモ打ト云 尤タカ子フカキ物
ナリ又ホソ銘モアリ

○平安城佳美平作

▲石道右近正俊大抵ヨリ上手ナリ鉛
中心相遠ナレタリヨコニス

平安城石道右近正俊

▲平安城住長吉地鉄細ニシテニハ自
至テフカク上手也位有テ古身ノ如ク
見ユルナリ

平安城長吉

▲生國阿剛徳嶋ニテ村左近廣次ハ
ウツ又京ニ住シテ歳長ト打乱多ク
キハ又ナド打地鉄細ニシテ小ニアリ白
フカク尤上手ナリ

冷陽山城守三村元正藤原歳長

▲山中兼道大抵ノ作人ナリ

平安城中直道

▲山城國住埋忠吉信地鉄ヨコカニ白ヒ
フカクニアリ上手也

寛永十二年八月日
山城國住埋忠吉信

▲埋忠明壽ハ寛永ノ頃ナリ地鉄ユカ
ニシテニハ白ヒラカシ細直又多シ乱モ
細ナル出来ニテ古作モ、如クニスル
タル上手ナリ
▲山城國栗田口藤原忠總ハ地鉄細
ニハ自アリテ上手也播列生ニテ京ニ住
ス後天坂ニ住ス

山城國栗田口藤原忠總作

▲和初住義忠是ヨリ先板ニテロシ鉛中心
相遠ナルヲヨコニス

和初住義忠

▲大和守菅原國武地鉄細ニシテニハ
白ヒ丁子乱又多シ上手也

國武

▲筒井越中守藤原包國地鉄細カニ
ニハ自ヒ有テ大抵ヨリハ上手ナリ

筒井越中守藤原包國

和天

新
簡并越中守輝邦入道紀充包國
員入作ナリ

○井上守輝邦入道紀充

河列越中入道紀充益箇并越中守藤
原包國輝邦入道紀充何モ同作也

河

於河列越中入道紀充

和泉守藤原國貞入道ニ道和
号之地鉄ニカニニニハ自呂深上手也
初代

津

○福列住藤原國貞

和泉守國貞代目ニ藤原ナニ
至テ上手也寛文頃ハ十六乗ノ菊
ウツナリ

○井上和泉守國貞

地鉄細ニシテハ自上有テ名人ナリ
延宝頃ハ真改作打菊ニ傳アリ

○井上和泉守國貞

右同作ナリ

○井上真改

真改方第ナリ作兵衛ト号之地鉄細ニ
三自育テナキ也後日別飯肥ニ下ル

○因平造

河内守藤原國助之地鉄細ニハ自育
テナキ也神戶國助方ノ勢別曹ニシ
初代

○河内守藤原國助

直了
主肥真ノ真改方第子也地鉄細
ニハ自育テ上手也後肥前平
戸控浦家ハ御地カナリ
合カテ河内ト云此作地鉄至テ細ニ自
カニテナキ也世ニモウケニ代目
員直見西行ト云乱有口傳也

○河内守國助

河内守國助之号ト号之地鉄細ニシテ
ハ自育テ中河内トイテ又上手也
三代目

○河内守國助

新ス

河内守國助藤左衛門上号之地鉄細
自昔テ上手也
四代目

河内守國助

正徳甲 九月日

肥後守國康二代目安泰上号久此作
初代ヨリハ以テシテトク

肥後守國康

肥後守國康初代藤原國助カ三男
也銘中心改テニ記ス

肥後守國康

北意治國真改カ第子惣兵衛上号ス
地鉄等細テニ八百と源ノ名也

八幡北園名國造

池田鬼神九國真二代目中河内第子
初ハ旗列國重トナリ多シ銘中心
改テコニシラス

池田鬼神九國真

小林伊勢守國輝初代國助カ曾ナリ
地名細ニヨクモソリニ百七至テテ
名入ナリ

小林伊勢守國輝

室宿ニテナリ

津田越前守助廣二代目甚之丞上号
銘中心見ウミ色アリ初ノ銘津田三
字ナキハ具ニカウコトアリナニカラヤウ

越前守助廣

二銘ヲ打慶長以來新身冠多ク勢
子細ニテラニニテ白ヒ至テカシ

津田越前守助廣

也夜久ノ八月日

近江守助真孫奈夫ト号ス生國江列
赤口助廣カ第子高木直江氏又近江守

近江守高木直江

廣直上切上有津田直江等上切後也此
津田ノ銘中心先板ニ相違ルカ故ニ
コニシラス

津田直江守助直

天和三ノ二ノ日

義及

丹波守吉貞全國濃別關ト云地鉄細ニシテニハ自ヒラカシメタリ又クジレ相列物ニキル名也

丹波守吉道

大和守吉道祖丹後守吉道弟丹波守大和守而作行タレ丁子又ワイタリ

大和守吉道

栗田日藤原正綱初代忠經子方夫方第十郎兵衛ト号ス一竿子ヲ上テ上手也

栗田日藤原正綱

越後守包貞初代越後守包貞此作ハ先極ニ見ヤク久ニ但中心相違ナルヲコニシル

越後守包貞

栗田近江守忠經二代目方夫ト号但初丁子乱後一竿子ト時方一クヲ傳ト云ル又一銘中心口傳不惣テホリ物ノ慶長後短クハシ

栗田近江守忠綱

丹後守藤原直道初代丹波守第子後三兼道ト打鉄中心ニ高ニシル直道ト打鉄トリノ方山未見也スレタリ上手也

丹後守藤原直道

鎌倉院賀樂天神社天進坊奉納ノ太刀切テ并ト賞美セラル

卒子栗田忠綱



源兼近前平二代目丹後守兼直弟之後三品但馬兼光ト打地鉄細ニ有

源兼近前平

上有不事也言保須廣列尾崎松平家御抱下九三品門太夫ト云

三品但馬守兼光

新

七〇

撰列任藤原長純、初代忠經、第
子也、銘曰傳不、作一、辛子、
ヲトラヌ、上牛也。

撰列任藤原長純

撰列任藤原忠行、初代忠經、第
子、三太郎、左衛門、下号、シ、活、住、雞、刀
名、也、地、鉄、至、テ、細、ニ、ハ、白、ヒ、カ、シ
直、又、上、牛、至、極、ノ、名、人、也。

撰列任藤原忠行

井上忠實、初代忠經、弟、作、地
鉄、細、ニ、ハ、白、ヒ、カ、シ、上、牛、也。

撰列任玉澤井上忠重

越中守包國、初撰列任包滿、打、二
代、目、越、中、守、輝、邦、打、地、鉄、細、ニ、ハ、ア、ラ
ニ、丁、子、乱、如、シ、イ、カ、ニ、モ、上、牛、也。

越中守包國

備前守源祐國、生、國、紀、列、作、地
鉄、細、カ、ニ、シ、テ、ニ、ハ、白、ヒ、カ、ク、ス、レ、タ、ル
上、牛、ナ、リ。

備前守源祐國

後三花房、三、字、ヲ、切、付、シ、テ、リ、津、田、助
廣、ニ、似、タ、リ。

花房備前守源祐國

相模守源則廣、生、レ、紀、列、傳、右、衛、門
下、号、ヲ、或、丹、羽、相、模、守、氏、打、地、鉄、細、カ、ニ
ニ、白、ヒ、カ、シ、タ、ル、上、牛、ナ、リ。

相模守源則廣

陸奥守包保、半、權、包、永、カ、未、兼、久
太、夫、ト、号、ス、出、生、和、列、郡、山、作、ノ、ミ、ト、先
板、ニ、ク、ワ、シ、右、銘、左、銘、氏、同、作、也、後、信

奥守包保

列松本水野家御抱トナル

野奥守包保

肥前守藤原鎮政、鎮政作二同シ此如ク中乱及時アラハ小ニヘアリ自ヒフカシ上手ナリ

肥前守藤原鎮政

風一 伊賀守伴入道風二裏三和別任包明コテカニトアリ

肥前守藤原鎮政、伊賀名張任入生國豊列高田中頃、紀列三任作地鉄細ニウルシク上手也此如ク石堂乱ニハナシホヒ至テフカシ最上ノ業物ト云傳フ

肥前守藤原鎮政

陸奥守藤原歳長、地カ子細ニヘニホヒアリテ大テイヨリ上手也先板ニ江戸住トシハ相違クシクハ京歳長ノ部ニアリ

陸奥守藤原歳長

神戶住國助、鉄細ニヘ白ヒワカク地ニモハタアリテ大抵ヨリ上手也

神戶住國助

伯耆守藤原信高、三阿弥兼高カマ孫也關ニモ任スト云中心モ數品出タリ付々有ル是非ナシラス

伯耆守藤原信高

嶋田住義助、地カ子細ニヘ白ヒアリ上手ナリ先板大テイトアハ相違ナリ出采不出采モアルモナリ銘中心替リアルコヘコニシラス

嶋田住源義助

盛道

武藏守藤原盛道、此作先板具カクワシ然レハ銘中心相違又大坂住有毛相違也大テイヨリスクシタル上手也武藏守駿河守三盛道下テ銘三一流有也

上法塚藤原正信、甲列任云リ作ハ地鉄細ニヘ白ヒアリ上手ナリ銘中心ニ替リ有故ニシラス

雙甲

○在塚藤原山信

豆伊

▲早乙女家久於豆伊作之打是相列
小由原甲銀治上云作六抵ナリ

○早乙女家久

▲常列係水戸坂東太郎鑲正入道傳ハ先
板言トクシ銘中心カハリタルモアルユハ
コニシレス

常列水戸往坂東太郎鑲正入道傳

○真十五枚甲伏作
延宝六年三月十日

濃信

▲小田原八幡山住清平ハ生國貞刻金澤
作先極見ヤウクシ然レ後江戸ニ住
不アル相違初江戸後小田原ニ住ス銘
中心アリアル故コニシルマ

○小田原八幡山住清平

藏

▲目康繼ハ先板ニクハシ銘中心相違
アリ

○康繼ハ先板ニクハシ銘

▲武列江言藤原國正ハ作小ニハ白ヒ
アリテ大抵ヨリ上手也

○武列江言藤原國正

▲但馬守法城寺橋ノ自國ハ地鉄細
ニ白ヒアリテ大抵ヨリ上手也銘中心
リタルモアル故コニ記ス

○但馬守法城寺橋ノ自國

萬治二年二月十日

▲近江守法城寺橋正弘ハ地鉄細
シテ小ニハ白ヒ至テラカシ大抵ヨリ
クレタル上手也

○近江守法城寺橋正弘

新刀

九七

伯耆掾橋國照地鉄細ニハ白ト有
本孫ヨリヌタル上手也

伯耆掾橋國照

法城寺造之

法城寺越前守精正照地鉄細ニ
小ニハ白ヒアリ大抵ヨリ上手也先板
ニ巨右之トイヘ下モ銘中心ナリカク
替ルル故コニシルス

法城寺越前守精正照

對馬守橋常光ハ市ノ左衛門ト
号代有下云西谷住セリ作先板見
ヤフクシ銘中心同人ナリ替リ有右
ノウタヒラ散ビタマコニテス

對馬守橋常光

武藏大塚是此作先板ニ見ヤフクシ
同作ニテ銘左並是下前ニ記ス

武藏大塚是

東連

石堂秦東連此作先板ニテ書
クハシカシ秦守ク分親トアリ
是非ヲ知ラズ

武藏住藤原吉平
アリ大抵ヨリ上手也

武藏住藤原吉平

出雲天塚藤原吉武地鉄細ニハ白
ト有テ作也先板ニ銘中心トモ見
相遠ル鉄ヲ銀ヲノ術其家ニアサ
レハ吉武一スニテ限ルバカラズ

出雲天塚藤原吉武

武列住吉正ハ上野双トモニ
白ヒフカク至テ上手也先板ニ銘中心相
遠又土列トアルハクハシカラズ

武列住吉正

武藏下原住宗重地子細ニハ自
有テ上ナキ也物テ下原ニ類出来不出未
アレバ兼物也トテ世ニ專ラ称美ス此作
慶長頃ヨリ古ク見ユ

武列下原住宗重

武列江戸新五郎吉時関善定未
三ノ坂屋吉時トモヲ作先板見ヤウクハ
銘中心カガリ有ユハヨニシルス

於武列江戸新五郎吉時作

小笠原昌齊長貞地鉄ヨクツマリテ
白ヒ至テフカシカシテ見ル時ハ白髪
如ク地及トモニハタマアリ中心カガリ
有ユハヨニシルス

小笠原昌長貞自作

武列住藤原助隣ハ地ガ子細ニシテ小
ニ自ヒアリ大テイ上半也先板見ヤウ
銘中心相遠有ユハヨニ記ス

武列住藤原助隣

大村加トコノ作先板見ヤウクシ然レモ
コト書尺是非ヲ知ラス銘中心相遠有
ユハヨニシルス

貞十五枚印伏不村加尉作之

大和守安定先板見ヤウ委細ナリ
ニカシ銘中心カガリ有ユハヨニシルス

大和守安定

繁原ハホリ銘駿列府中ニ在
スコノ作先板見ヤウ
タシ口傳アリ

繁原

繁昌ホリ銘駿列府中任
トモ云コノ作地ガ子ウスクロク
サシグリトハ立小ニ地ノ内ヘシミ
シルク見ユ物也ホリ銘ニテ中心スガ
夕針繁原上同分是非ヲシス

繁昌

新

七

武列任繁定此作太抵ノ物ナリ
繁定及繁昌ト各別ノ作ナリ

武列任繁定

上總公藤原兼重先板ニ知泉守兼
重ト同トアリテ上總公知泉守ヨリ
スレタル上手也ニ白ヒテカカ見テ
ナリ物ナリ一説ニ越前カテテ矢根
上手也ト云ノ

上總公藤原兼重

武藏國横山任人安永
ニ白ヒテアリテスレタル上手也武藏大塚
忠廣ニ似タリハ王子 武家方ノナリ
ミ打ト云稀ナリ

武藏國横山任人安永

佐々木源一峯ハ上江別佐々木任人後ニ
江府ニ住セリコト作テ先板ニ見ヤクシ
但中心相遠ナルアリコニシルス

紙列任人佐々木源一峯

美濃

信濃守藤原大道地鉄コカニシテニハ
白ヒテアリテ上手也先板ニ銘中心有トモ
火シテカカ有故コニシルス

信濃守藤原大道

安行 横津守源忠行、橘忠行氏打
忠行太郎左衛門第ナリ作地
ガ子至テコカニシテニ白ヒテカカ直
又ノ名人ナリ

武藏太郎安國ハ先板ニ見ヤウクハシ
銘中心督リ有コトニ記ス

武藏太郎安國

真十五技甲伏作

舟波守照門中心カシヨウ銘御上モニ
至極上手也小ニ白ヒテカカ銘中心先板
ニカカ有コトニシルス

舟波守藤原照門

武藏守吉門、先板三見ヤウクシ大
抵ヨリ上手也銘中心カヒ有ヲ記ス

善定家前武藏守吉門
坂東太郎鏡正入道下傳

大和守藤原金藏、先板三見ヤウクシ
武列神田作トアル江戸へ下リ方是非
シズ銘中心カヒ有ヲシルス

大和守藤原金藏

兼勝、地カシロクヨクハリテ白ヒラ
カク大抵ヨリ上手ナリ

兼勝

陸奥守兼高、地鉄細ニクヒリアラ三
有大抵ヨリ上手也先板天抵トアル相透也
銘中心遠ニテ有差二國スナリ

陸奥守藤原兼高

陸奥守兼信、地カ子細ニハ白ヒ至テ
フカク上手也先板天抵トアル相透銘中
心ノキガヒ有ヲコニシルス

陸奥守藤原兼信

野田五郎藤原金定、先板天抵下有八相
透スル上ナキ也岐阜、住入尾列ニ有美
入物也國知ト有故コニ知ルス

野田五郎藤原金定

豊後守藤原金高、地鉄細ニテ小ニ有
ヒカク大抵ヨリ上手也先板銘中心見ヤ
ウキカヒシ故コニシルス

豊後守藤原金高

備中守清宣、心格好銘御至テ上手
也南蠻鉄ヲ以テ作之ト裏テリ丸小ニハ
白ヒカク直又乱レ多シ

備中守藤原清宣

秦光代、先板三見ヤウクシ然シ大抵ヨリ
上手也國知ト有誤ナリ

秦光代

相模守政常ハ先板ニ委シ然シ銘中心
ニ相遠有テ爰ニシテ長王奈良太郎兼
常ガ子孫ニ後ハ尾列ニ住ス

相模守政常ノ道

伊勢守藤原信貞岩捲ニ云此作先板
ニハスケタル上手トアルハ相遠ヘラガキナド
有テイマシク見ユ地ガ子ツマリタルハ稀也
タイ中心チカヒ有テ爰ニシルス

伊勢守藤原信貞

阿波守平貴常ハ地ガ子堅クアラニハ
有大抵ヨリ上手也先板ニ見ユウ銘中心
相遠方國知スト有ヨツテ爰ニシルス

阿波守平貴常ノ道

信列住助宗ハ地ガ子細ニシテ小ニハ白ヒ
ヲタク上手也先板ニシテ書クハシ矢根
キドリ十文字フク口鑑等ノ上手ナリ大坂
三品但馬守ガ師近ナリ

信列住助宗

兼定先板ニ委シ但銘中心相遠セルヲ
コニ圖スル

兼定

陸奥大塚ニ善長道先板ニシテハシクシ
ストイトモ銘中心相遠有レハ又コニ
シテス

陸奥大塚ニ善長道

奥列盛岡住國吉地ガ子コニカニシテ
小ニハ白ヒアリ上手也事ハ先板ニ委シテ
レハ銘中心相遠アルヲ爰ニシルス

奥列盛岡住國義

元禄四年五月日

國包 奥列仙臺住藤原國包ハ作先
板ニ立銀ヒ保目五郎直及八原
物上見ユ事ニ反陽稀五ニツテ銘
中心是非ヲ知ラス

羽列住國包

羽列住政包地ガ子細ニシテ小ニハ白ヒ有テ
上手ナリ世ニ作レレナリ

因列住藤原兼光

因幡國住藤原兼光ヲ先板ニ大抵ノ作下
アルハ相遠方地ガ子コニカニシテ直及ヨク
ヒツリ細ニシテ来國俊ノトシ直及スル
レタル名入ナリ

因幡國住藤原兼光

因幡國住藤原兼光ハ其舊門下号作
人前看因列住藤原兼光ト向今ナリ

信濃大塚藤原忠國

信濃大塚藤原忠國此後見ヤウシ
銘中心相違又朝鮮人來朝之後信濃
大塚ト受領スアリヲギイカ慶長
ノ頭ヨリ信濃大塚ト打名アリ

信濃大塚藤原忠國

伯耆國住廣賀此作地鉄細示ニ有句
有テ手也同銘數高有何ト申上シ

伯耆國住廣賀作

伯耆國住廣賀道祖七郎左衛門ト号
ス作トト右ニ同シ

伯耆國住廣賀作

播磨住藤原宗重作ハ地女子細ニテ
白ヒアリテ上手ナリ

播磨住藤原宗重

播磨國街庄金重ハ金重凡ト多由與右
衛門金重トモ打コ作地女子細ニテ
シテニハケシ上手也

播磨國街庄金重

雲出

雲列住大明京先板ニ大明京ト云者
三乘住シ出願鍛フアル不審也尤異國ニ
リ表シト聞傳ノ然レハ大明京ト云者
ニ非ズ廿四冊ニ限ルカラス大坂ニテハ
カスノ見及テ其未葉今ニ雲列住ニテ
キク見ヤウ先板ノトクイロノ出未ア

雲列住大明京

雲列住大明京

前備

備前國住長船七兵衛尉祐定此作出來
烈シク大業物トテ世ニ秘美ス先板ニ古キハ
ニ枚余ノ代付モアリカ七兵衛祐定ハ
寛永ノヨリ古キ見ス

備前國住長船七兵衛尉祐定作

横山野天塚藤原祐定先板天祐有相連也乱及ケシク直及ソクボウシヨク等シマリキキ、上手也但シ中心カヒタルヲ愛ニシルス

横山野天塚藤原祐定

備列長板住人

鈴木五郎右衛門尉藤原宗榮播別宗榮向作也地鉄シマリアラニハ有上ア烈キ出未水田如シ上ナリ

鈴木五郎右衛門尉藤原宗榮

於備前田山作之

備中國水田住大月大與五國重ヨノ作先板ニ見ヤウ事書クハシ

備中國水田住大月大與五國重

備中國水田住大月大與五國重此作先板ニ見ヤウコト書クハシ

備國水田住大月大與五國重

藝安

備國水田住大月大與五國重此作先板ニ見ヤウコト書クハシ

備國水田住大月大與五國重

藝安備國水田住大月大與五國重此作先板ニ見ヤウコト書クハシ

藝州住冬廣

長門

長門住三王方清地方子細ニ、アリエテ上ニ也豊浦ニ住ス

長門住三王方清

加列住家平、地方子細ニシテニハ白ヒラカク大抵ラ作ヨリ上手也先板ニ見ヤウクハシ然シ銘中心此コトクニモ有故爰ニシルス

真列住家平

ウテ
元禄九年八月廿日

近江天塚藤原行光

近江天塚藤原行光ハ百ヒラ上手也
播磨大塚藤原清光ハ大塚ノ作出未由夫有然氏業物トテ世ニ稱美ス先板ニハシ但シハ食清光ト云コト口傳アリ

播磨大塚藤原清光

賀加

勝國先板ニト書クシ銘中心ノ手
ガイヲ記ス

加列任橘勝國作

同ク

伊豫大掾橘勝國

重絶ハ地カ子細ニヨクシリニハ白ヒ深ク
大抵ヨリスケレタル上手也尤ホウシ又ウラ
シリ見コナリ

賀州任藤原重絶

若

若別任久唐地鉄細ニ有テ上手ナリ
此作板代有リ諸國ニ交廣打カナ多シ

右列任久廣

伯耆守汎隆先板ニクハ尤出未不出
未有併伯耆守信高ニ並テ手物アラズ

伯耆守藤原汎隆

越前國任下坂地鉄細ニ小ニ白ヒアリテ
上手也惣シテ越前國下坂ト斗アリ

越前國任下坂

加列金澤任兼卷先板ニ國知カトアリ
如賀州任ナリ尤寛水ノ頃ヨク出来タ
位アリテ大知モ、如シ

賀州任兼卷

前越

河内大掾藤原義植地カ子細ニシテ
ニハ白ヒアリテ上手也先板ニ銘中心
替リ有テコニ記ス

河内大掾藤原義植

大和太掾藤原正則ハ地カ子細ニ小ニ白ヒ
アリテハクニキ出来タ多シ上手也

大和太掾藤原正則

前筑

筑前國福岡守次先板ニ見マウクハシ
銘中心替リタレ故コニシルス

筑前國福岡守次

筑前國福岡住是次地カ子細ニシテ白
ヒ先板ニ天板トアレ守次ニモトアラ

至也銘中心替有故ニシルス

筑前國福置住屋

筑前國福置住實波右三同守次是次利次實次ヨノ四作トモ何レヲトラス上手也

筑前國福置住實次

筑前源安善地カ子至テヨニカニシテ小ニ名ヒ有テスレタル上手也

筑前源安善

源信國長先極見ヤウクシ

源信國吉政

筑前住源信國吉包先極見ヤウクシ銘中心替リタル故ニシルス

筑前住源信國吉包

筑前住源信國吉包此作先極久ハシカラス地鉄ニカニ、今白ト至テ深シ吉包吉里重京里包ヲ四カテ信國ニルイニテスレタル上手也

筑前住源信國重包

源信國平四郎吉政先極見ヤウクシ銘中心替リタル故ニニ記ス

源信國平四郎吉政

源信國平四郎吉政先極見ヤウクシ銘中心替リタル故ニニ記ス

筑前住源信國

祖拾代傳

後

筑前柳川住吉國先極見ヤウクシ銘中心替リタル故ニニ記ス

筑前柳川住吉國

豊

大和守藤原忠行の地鉄細三へ白と有
上平也銘中心音有故コニシルス

大和守藤原忠

大和守藤原忠行の地子細三シテ
白と有上平也

大和守藤原忠行

鬼塚吉國右同作也先板之留米
任鬼塚吉國ト別ヤリ也

致州任鬼塚吉國

國隆

山上播磨守國隆豊後國
二准久留嶋家御地由作
地カ子ヨクツミリテニ白ヒリスカレ
タル上平也ヨク出未タル大坂伊勢守
國輝ニタリ大坂河内守國助カ弟也
也ト云

豊後國任藤原則行の地カ子細三シ
テ白と有上平也先板之鉛中心音
有故コニシルス

豊後國高田任行長地カ子細三白と有
上平也銘中心ラタメニシルス

豊後任藤原則行

肥前國忠吉ハ名入ト云ト世ニ知レル処
ナリ然レ氏數品見未ト出未官カラハ
委左ニ記ス又先板ニ初代ヨリ五代目迄
ハカラルトイハ是非決ミカタシ勿論銘申
心相違其上何レ太刀銘トハアレ氏皆銘申
心ヨクイカ且又肥前國源忠吉ト出タ
リ未コレヲ見ス一説ニ忠吉忠廣同作也
ト云コト品々口傳アリ

肥前國忠吉

肥

肥前國任念吉ノ作右ニ同シ併コトハ
字ノ忠吉ハ前ニアル五字ノ忠ヨリ一ト
キハスアレタルモ有モ也ヨリテ五字七字
ハ字ノ銘バカリニテモ勝炭見分ガタ
シトカク太刀出未ニヨリテ見分ベキ
モカ字カズニテ勝炭見コト云説ハ用
ヒカクシヨク心得ベシ

肥前國佐々木忠吉

肥前國藤原此吉此如ク藤原ト察
多數品見レ庄宜カラス出テ不出来有モカ

肥前國藤原忠吉

肥前國佐々木忠吉ハラ作テ書石
ニ同シ何レ同タナリ

肥前國佐々木忠吉

肥前國佐々木忠吉此作ハ文字數三ヨリ時
代ヲ分ラレ併同ジ文字數ニテラ如
ク銘中心前出タルハ字忠吉ハカレリ

肥前國佐々木忠吉

肥前國佐々木忠吉ヲ作先板ニ見
マウクハ併肥前國佐々木忠吉ハ代
目ナリト出シテ元祖忠吉ヨリ何代目
ト云ユトノ知ラカト書レシイカコ
又不審ナリ

肥前國佐々木忠吉

近江掾藤原忠吉子保ノ項ノ作ナリ
此鉄細ニマラニアリハスレカク上ナリ

近江掾藤原忠吉

主佐守藤原忠吉地鉄細ニハ白有上
ナリ右田ノ外ハ五文字ナリ忠吉ハ六
ルモアリ

肥前國佐々木忠吉

肥前國佐々木忠吉此作先板
ニ同シ有實来ノウラ銘ニキリタ
ルモアリ

肥前國佐々木忠吉

肥前國佐々木忠吉此作先板
ニ同シ有實来ノウラ銘ニキリタ
ルモアリ
勿論出来宜シキモ也

肥前國住藤原忠廣

河内大掾藤原忠廣先板三下書久シ
箱心管有故三記ス

肥前國河内大掾藤原忠廣

播磨大掾藤原忠國コ作先板三下書
久シ併大板作トアル如何クテタル
上キ也乱及イヤニキニ言リテカ中ハキ
モ上扱ホタ切タルモアリ

播磨大掾藤原忠國

肥前大末河内守源行平コ作先板三
下書久シ併本行カ下アル是非
知ラス銘申心正同シヨ見ユル

肥前大末河内守源行平

肥前出羽守行廣コ作先板三下書
久シ併藤原之丞行廣ト切タルアリ
トイヘモタコヲ見ス

肥前出羽守行廣

肥前國住人源宗安先板天抵トアリ
相違上手也

肥前國住人源宗安

土肥真了大坂井上直政弟子松浦家
ノ御抱ヘコ作先板三見ヤウクハシ銘中
心ノ替リタルヲシルス

土肥真了

肥前國住伊勢大掾藤原吉廣コ
作先板三下書トアル相違ナリ地鉄
細ニハ有ヒフカク上手也

肥前國住伊勢大掾藤原吉廣

肥前國伊豫原宗次ノ作先板ニコト
書委ニ併代付ノ下ハ是非知ラズ有
出来不出未有モ也

肥前國伊豫原宗次

播磨父道藤原休鉄ノ作播磨掾忠
國ト同作也

播磨父道藤原休鉄

延寶三ノ年八月吉日

法橋末國次入道壽徹ノ作地鉄細シ
テアラニ有白ヒラカク上キ也

法橋末國次入道壽徹

波平安國ハコノ作地子細ニアラニ有
テ地子ツヨキ出来モナリ銘中心替リ
アル故コニシルス

波平安國

安代 主馬首安代薩列喜ニ住ス
一平ノ号シテ王置小一郎トモ
イヘリ作先板ニタシ

正清 永正清宮原清右衛門ト号
シ作ノ下先板ニタシ

秀貞 奥和泉守秀貞ハ左衛門ト
号ス鐘ノ名今ナリコノ作地子
三カニシテニハ白ヒアリ上手ナリ
宜出来タル大坂津田助廣ニ似タリ
先板ニタシ出ル

初代南紀重國ハスガ文殊ナリ上カク紀
列ニテ稱美スルトコ也作至テ地子細
小ニアリ直及名今ナリ

初代南紀重國

文殊重貞ハ初代重國ガ弟子ナリコノ
作地子細カニシテヒハリ白ヒアリ
上手ナリ先板ニ銘中心見イウ相違
アリ

文殊重貞

紀伊國康廣ハ當上モ打作ノ下先板

見ヤウ久シ康繩方子ニアル相遠康
繩ハ康廣カ第子ナリ

紀伊國康廣

波阿

近江大掾藤原重政地方子ニカニハ
アリテ上手ナリ

近江大掾藤原重政

備中國水田佐國重地鉄コニカニハ
ニアリテスコレタル上手也

備中國水田佐國重

續列於高公作之

和泉大掾藤原國輝大坂陸奥守輝
政後銘也但同銘三代アリ地女子細ニ
ニ自レ有テタル上手也三代目ハ
タル方先板ニ見ヤウ銘中心ニ有テ
記ス

和泉大掾藤原國輝

上列在國無上野大掾打地鉄細ニハ
白ヒカクヌタレタル上手也先板ニ下
有ハ荷國知レト有故シルス

和泉國益作

淡路

鈴木大和守助政大坂津田近江守助具
子作ハ地女子細ニハ白ヒアル上手也先板
ニ見ヤウタル銘中心ニ有テタル
シルス

鈴木大和守助政

阿波

髪方作地女子カニニノ上手也先板ニ
大板トアル相遠ナリ尤髪方作アル
モ同作ナリ

髪方作

國知ラズ

河内守源國英地女子ニカニ大抵也
先板ニ下ナリ有ハ相遠ナリ

河内守源國英

延房

丹波守藤原延房地鉄細ニ
テハニアラニハワリ白ヒ至テワ
ク大抵ヨリスタレタル上手ナリ

正勝 大隅守正勝 大鎧 二切九作 八地鉄
細ニシテ小ニヘアラニ 白ニ深クハク
物ニテ スクレタル 上ニ也 評スラク 堀川 國
廣カ 鋸正 以此 マクニモ オタルカ
山城守藤原信利 八地カ子 細小ニ 白
也 アニ手也 先板ニ 下手ト有ハ 相違世 伝
也 アレ 氏大坂 下ニ タニク 出ル

山城守藤原信利

千手院包守 和泉守 千手院盛國
が類カ作 八地カ子 細ニシテニヘアラニ
リニ大板ヨリ上ニ也

千手院包舟

新刀銘盡大全終

